



いわての林業人35

1 はじめに

今月の普及班便りでは、平成24年度岩手県林業経営推奨行事で最優秀賞を受賞した二戸市の小笠原耕男さん(66歳)をご紹介します。

2 所有山林面積

人工林 67 ha、天然林 24 ha
計 91 ha

3 経営方針

(1) 計画的間伐による優良大径材生産
伐期を80年以上に設定し、本格的な優良大径材生産を目指しています。

間伐等の森林施業は、森林組合に委託しながら、自身も林業機械フォワーダー1台、グラップル1台を購入し、間伐材の伐採・搬出・運搬を行い、地元の

製材所などに販売して林業所得の向上に努めています。

また、皆伐跡地は、スギとカラマツを適地に



岩手県林業経営推奨行事 最優秀賞受賞

再造林し、「伐ったら植える」を実践しています。

(2) 高密度路網整備による低コスト化

低コスト作業を進めるため、路網の高密度化により定性間伐と有用広葉樹の搬出作業を効率的に進めており、作業路コースの選定を行うとともに、自ら重機を運転して開設しています。路網整備状況は、林道千m、作業道5千400m、計6千400mを積極的に開設し、現在、ha当たり、約70mの高密度路網を実現し、低コスト化を図っています。

4 地域林業の振興に対する貢献

小笠原氏は、金田一川林業実行組合長を20年以上にわたって務め、地域林業の先導的役割を担ってきており、地元の名士として活躍しています。また、岩手県指導林家として、各種講習会などでも活躍しています。

さらに、所有森林を小中学校の森林教育、林業体験のフィールドとして開放するなど、森林・林業教育にも積極的に取り組んでおります。

5 おわりに

受賞された小笠原耕男さんは平成25年度全国林業経営推奨行事へ推薦させていただきました。

林業技術センター普及班

019(698)1337